

戦争する国づくりノー

憲法共同センター 前橋で昼休みデモ

群馬県憲法共同センターは19日、前橋市で「戦争する国づくり」反対などを訴えて月例の昼休みデモ（通算104回目）を行いました。シュプレヒコールを繰り返しながら、県庁前から国道50号を進行しました。

出発前のミニ集会で、嶋津良夫共同代表（群馬革新懇事務局長）は、自公政権が能動的サイバー防御法案や刑事デジタル法案、日本学術会議解法案を強行しようとしていると批判。「戦争する国づくり準備への危機を感じる。『せめぎ合い』に負けない闘いをつくっていきましよう」とあいさつ

しました。

連帯トークで、古川真由美県医労連書記長は「国は憲法25条の最低生活の保障やいのちとくらしを守る義務を果たしていません。『自己責任』を押し付け、医療・社会保障・介護の抑制・削減の『逆行』をしています。軍事費削減、戦争する国づくりノーの政治への転換を求めて声と運動を広げましよう」と訴えました。県安保破棄実行委員会は、群馬上空での米軍戦闘機やオスプレイ飛行、実弾射撃訓練に抗議し、中止を群馬県と防衛省に申し入れたことを報告しました。

日本共産党の酒井宏明県議と小林久子前橋市議が参加しました。



104回目となった昼休みデモ。前列右端は酒井県議。19日、前橋市